

立教大学フランス語フランス文学会会務報告

第8回大会が2019年7月6日(土)池袋キャンパス5号館5301教室において開催され、50名ほどの参加者がありました。

第8回大会プログラム

- 15:20 開会の辞：菅谷憲興（立教大学文学部）
総合司会：桑瀬章二郎（立教大学文学部）
- 15:30～16:20 研究発表「フローベール『感情教育』におけるジェンダーとイデオロギー——ヴァトナ嬢をめぐる」
発表者：森本悠人（立教大学大学院博士後期課程）
コメンテーター：沖田吉穂（早稲田大学政治経済学部教授）
司会：坂本浩也（立教大学文学部）
- 16:20～17:30 講演：「ことばとものの狭間をぬって～フランスと関わり50年」
講師：北山晴一（立教大学名誉教授）
司会：小倉和子（立教大学異文化コミュニケーション学部）
- 17:30～17:45 総会
17:45 閉会の辞：横山安由美（立教大学文学部）
- 大会・総会のあと、18:00よりTante Grazieにて懇親会が行われ、こちらも盛況でした。

総会要旨

- 1) 人事、会計・幹事の人事が承認された。会計報告が行われ、承認された。
- 2) 第6回須山賞 該当者なし。またこれに関連して、須山賞の選考はこれまで自薦論文・著書をその対象としてきたが、次年度以降は、自薦および他薦論文・著書を含め広く立教出身者の業績を選考対象とすることが提案され、承認された。
- 3) 立教大学フランス文学研究室を編集発行人とする本誌『立教大学フランス文学』の立教大学学術リポジトリ（立教 Roots）での公開が提案され、承認された。

2019年度人事

会長 菅谷憲興
教員幹事 桑瀬章二郎（会計担当） 坂本浩也 岡村民夫 関未玲
大学院生委員 2名 中田麻理（博士） 西尾荘太（修士）
学部学生委員 8名 山下香織（4年） 大崎源太（4年） 持田麻夕子（3年） 松井彰宏（3年） 小出智優（2年） 坂井瑞貴（2年） 崔馨元（1年） 古山貴子（1年）

監査 小倉和子 山田仁

第6回須山賞（本学会の奨励賞）

受賞者：なし